

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | | |
|----------------|---------------------------|----|--------|----|
| ○事業所名 | こどもサポート教室「きらり」白金高輪校 | | | |
| ○保護者評価実施期間 | 2025年11月7日 ～ 2025年12月13日 | | | |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 50 | (回答者数) | 39 |
| ○従業者評価実施期間 | 2025年11月10日 ～ 2025年12月10日 | | | |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 6 | (回答者数) | 6 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 2026年1月14日 | | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的にやっている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|---|--|
| 1 | こどもが安心感をもって楽しく通所していること。 | こどもが「きらり」で楽しく過ごすことで、自己肯定感を高めることができるような支援を職員全体で心掛けています。 | 「誰にだって輝ける舞台がある」というのが弊社の基本理念です。この理念に基づき、できたことを肯定的に認めていくことを大切にしていきます。 |
| 2 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていること。 | 毎回支援後に、指導員と保護者の間で15分の振り返りの時間を設けています。必要に応じて、保護者との面談も行っています。 | 保護者と一緒にこどもの成長を見ていくために、保護者への支援も大切であると考えています。その上で、関係機関連携にもつながるようにしていきます。 |
| 3 | こどもにわかりやすく構造化された環境になっていること。バリアフリー化などへの配慮をしていること。 | 支援スペースに番号を付けることで、場所をわかりやすくしています。教室が1階で段差が無いので、車椅子でも通所が可能です。 | 限られたスペースの中で、机上課題に取り組む、身体を動かすなどの目的に合わせて、パーテーションや机の位置などを柔軟に変えられるように努めています。 |

| | 事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|---|---|--|
| 1 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がないこと。 | 1時間の個別療育のため、時間内に教室外へ出て地域のこどもと交流する機会を持つことが難しい現状があります。 | 個別療育でこどもの社会性やコミュニケーション能力が育つように支援することで、地域で他のこどもと楽しく関わることができるようしていきます。 |
| 2 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催の機会が設けられていないこと。 | 保護者会のニーズがある方とそうでない方がいるため、なかなか保護者会を開催できていない現状があります。 | 保護者への情報提供の場として、無理なくできることから保護者会の開催ができればと考えています。 |
| 3 | 家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会がないこと。 | 支援後の保護者との15分の振り返りや、任意の事業所内相談などで、家族支援を行っていますが、専門的な家族支援プログラムとして系統立てていません。 | 職員が専門的な研修などを受ける機会を作ることで、保護者を対象にした研修会などを開けるようにできればと思います。 |

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 こどもサポート教室「きらり」白金高輪校

公表日 2026 年 2 月 14 日

利用児童数

50

回収数

39

| | | チェック項目 | はい | どちらとも いえない | いいえ | わからない | ご意見 | ご意見を踏まえた対応 |
|------------------|----|---|----|---------------|-----|-------|--|--|
| 環境・ 体制 整備 | 1 | こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。 | 24 | 13 | 1 | 1 | スペースは良いが、個別なのでしっかりとした仕切りにできれば良いかと思います。/基本座って行う事が多いので問題ないが、スペースは広くはないので、運動的なことをする時は狭く感じる/少し早く着いても待てる場所を室内にほしい。/我が子には十分なスペースだが、支援中に飛び出している子もいるため | 貴重なご意見をありがとうございます。早めに着いた時に待てる場所を確保するのは物理的に難しいため、なるべく時間通りに通所していただくと助かります。 |
| | 2 | 職員の配置数は適切であると思いますか。 | 34 | 3 | 1 | 1 | 少なめ的人数で回されているのかと思うところはあります。/もっと希望日や時間を増やしたい | 人員基準は守って運営しています。ただいま利用する方が増えているため、日数を増やすご希望には沿うことができません。申し訳ございません。 |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。 | 35 | 2 | 1 | 1 | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。 | 31 | 6 | 1 | 1 | 椅子の下に食べ物が落ちていた。 | ご不快な思いをさせて申し訳ありません。職員の昼食後の清掃を徹底致します。 |
| 適切な 支援の 提供 | 5 | こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。 | 30 | 6 | 2 | 1 | 支援員の入れ替わりが多く、以前は専門性のある方が多かったが今は専門性が乏しく見受けられ不安に思っている。/もっと時間をかけた療育を行なってほしい。/子供は楽しんで取り組んでいるが、専門性については正直わからないです。/先生によって差があると思います。最初のアセスメントで細かく回答するのも大変だったのに、「できる」と書いた内容を「これは随分わかってきましたね」と言われると「それは元々できるし書いているし、すでに分かっていることよりもできないことに重点を置いて欲しい、45分しかないのに」と思ってしまう。/毎回先生が変わって、先生によって方針が変わるので、よくわかりません。/先生によりばらつきがあると感じます。もう少しバランス良く安定した数人と聞かれると良いと思います。 | 指導員によって差があるというご意見を真摯に受け止めて、今後の支援の質の向上に努めていきます。 |
| | 6 | 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。 | 31 | 5 | 0 | 3 | | |
| | 7 | こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。 | 33 | 4 | 1 | 1 | 療育が何につながっているのかはわかりにくい。療育を通して成長性がどこにでているのかも教えてほしい。/先生によって違います。 | 支援後の振り返りの時間などで、わかりやすい説明ができるようにしていきます。 |
| | 8 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。 | 34 | 2 | 1 | 2 | | |
| | 9 | 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。 | 33 | 5 | 1 | 0 | 計画書はしっかり作られているが、実際には子供がやりたい遊びをやって終わってしまっており、こちらが希望する支援が得られていない。 | お子さまの自主性を尊重しながら、保護者の希望に沿えるように努めていきます。 |
| | 10 | 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。 | 27 | 6 | 2 | 4 | 先生によりカリキュラムにムラがありすぎる。/先生によって毎回変わるので、よくわかりません。/先生によって差があると感じます。/以前と比べて、取り組み内容がいつも似たものが多いように感じます。/色々とご留意して頂けていると思いますが、子供の気分などやりたい事を優先して下さっています。 | プログラムが固定化している方が落ち着く場合もあるので、お子様の状況に合わせて支援していきます。 |
| | 11 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。 | 7 | 2 | 24 | 6 | 私が知っている限りでは、交流はないと思います。/個別を希望しているので必要ないと思います。 | 1時間の個別支援のため、地域のこどもと交流する機会を持つのが難しい現状です。 |

| | | | | | | | | |
|--------------------------------------|----|--|----|----|----|----|--|--|
| 保 護 者 へ の 説 明 等 | 12 | 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。 | 37 | 2 | 0 | 0 | 子供の支援の後、今日の学習の報告をいただくのですが、その後に最近ご家庭ではどうですか、と聞かれたので、家庭での状況を報告していたら、子育て支援サポートというものを今日はつけさせてもらいます。と、説明もなく加算されたのは納得いかなかった。加算はいいのですが、説明なく勝手にというのが問題だと思った。 | こちら側の説明不足でご不快な思いをさせてしまいました。今後は加算について、丁寧に説明をしていきます。 |
| | 13 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。 | 34 | 2 | 1 | 2 | | |
| | 14 | 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。 | 10 | 6 | 10 | 13 | 日々のフィードバックで色々と聞いてもらっています。/私の知る限りはありませんが、あったら参加したいです。 | ペアレント・トレーニングは実施できていませんが、今後も家族支援に尽力していきます。 |
| | 15 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。 | 32 | 6 | 1 | 0 | 聞いていただき親としてもとても助かっています。/先生によって差があると感じます。 | お子さまについて、保護者と共通理解ができるように努めています。 |
| | 16 | 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。 | 29 | 4 | 5 | 1 | 先生によって違う。 | 指導員によって差があるというご意見を真摯に受け止めて、今後の支援の質の向上に努めていきます。 |
| | 17 | 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。 | 33 | 4 | 1 | 1 | | |
| | 18 | 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。 | 5 | 4 | 20 | 10 | 私の知る限りではありませんが、あればぜひ参加したいです。/個別支援なので、そのような機会は特に要望しておりません。 | 保護者会などの開催はできておりませんが、ご希望があれば考えていきたいと思っています。 |
| | 19 | こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。 | 25 | 4 | 2 | 8 | まだそういったことがないので、わかりません。 | 相談や申し入れがあれば、迅速に対応致します。その場で回答できない場合は、後日回答致します。 |
| | 20 | こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。 | 34 | 3 | 1 | 1 | | |
| | 21 | 定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。 | 23 | 3 | 3 | 10 | されているとは思いますが、定期的かはわかりません。 | X(旧twitter)や、ホームページ、LINEで情報提供しております。 |
| | 22 | 個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。 | 33 | 3 | 0 | 3 | | |
| 非 常 時 等 の 対 応 | 23 | 事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。 | 28 | 3 | 2 | 6 | | |
| | 24 | 事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。 | 27 | 1 | 2 | 9 | 数年前に訓練の日が利用日と重なった際にあったと思います。 | 防災や避難の訓練では、状況によってお子様や保護者の方にも参加していただいております。 |
| | 25 | 事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。 | 28 | 3 | 1 | 7 | | |
| | 26 | 事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。 | 29 | 10 | 0 | 0 | 施設内で怪我した事はありません。/まだそういったことがないのでわかりません。/経験がないのでわかりません。/事故が発生していないので分かりません。 | 支援中に事故や怪我がないように努めています。発生した場合には速やかに対応を致します。 |
| | 27 | こどもは安心感をもって通所していますか。 | 38 | 1 | 0 | 0 | とても楽しんで通っています。 | ありがとうございます。 |
| | 28 | こどもは通所を楽しみにしていますか。 | 35 | 3 | 1 | 0 | 子供がやりたいことをやらせてくれるので子供は楽しみに通所しているが、子供が苦手とすることへのアプローチや親が希望する支援は得られておらず悩んでいる。/いつも先生が多く、会いたい先生になかなか当たらないことを不満に思っています。 | 段階を踏んで、長期的な視点で、お子さまが楽しく過ごせるように支援していきます。 |

| | | | | | | | | |
|-------------|----|------------------|----|---|---|---|---|--|
| 満 足 度 | | | | | | | | |
| | 29 | 事業所の支援に満足していますか。 | 31 | 5 | 3 | 0 | 小学校の先生は忙しく家の外でどの様に過ごしているのか知る事があまりできないため、毎回支援後にきちんとご報告をいただけ安心します。また親の悩みも聞いていただけ、専門的なアドバイスもあり、とても助かっている。/もっと療育時間を増やしたいです。/先生によって違う。/スタッフの入れ替わりが多く親も子供も慣れるのに苦労している。/いつも同じようなことをしていて、マンネリ化していると感じることもあるが、本人の話は良く聞いてくれるので、子供の気持ちはある程度満たされているかなと思う。/子供の年齢があがるにつれて、学校の授業等でグループワークが増えてくるので、そういったグループでの活動もしてほしい。その日一緒にあった子供でも、改めて別日で集まるでもいいので、集団でひとつのことをやる時間もあるともっと社会性が身につくかなと思いました。 | 貴重なご意見をありがとうございます。ご意見を真摯に受け止め、今後の事業所運営に生かしていきます。 |

公表

事業所における自己評価結果

| 事業所名 | | こどもサポート教室「きらり」白金高輪校 | | | | | 公表日 | 2026 年 | 2 月 | 14 日 |
|---------|----|--|----|-----|---|--|-----|--------|-----|------|
| | | チェック項目 | はい | いいえ | 工夫している点 | 課題や改善すべき点 | | | | |
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | ○ | | パーテーションで空間を仕切ることで、簡単な運動もできるようにしています。 | 次の利用者と入れ替えの時間帯に、待機場所を作ることが物理的に難しいため、気を付けていきます。 | | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。 | ○ | | 適切な職員配置をしています。人員が足りない時は、他教室から応援の指導員に来てもらうようにしています。 | 日々の体調管理や、教室の換気や清掃などで、職員の病欠が無いように気を付けていきます。 | | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | ○ | | 利用者および職員が怪我をしないよう環境づくりをしています。1階で段差が無いので、バリアフリーになっています。 | 限られたスペースで物の置き場所が制限されるため、整理整頓を心掛け安全な環境を心掛けます。 | | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。 | ○ | | 日々の清掃でアルコール消毒と清掃をしています。換気扇で常に換気をしており、清潔な教室を心掛けています。 | 今後もアルコール除菌を継続して、清潔な環境を維持していきます。 | | | | |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | ○ | | 個別療育を主にしています。こどもの成長に合わせて、机を変えています。 | 使用する机と椅子に限りがあるため、使用する机と椅子に気を付けながら、個別の場所を設定する必要があります。 | | | | |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。 | ○ | | 日々のミーティングを大切にしています。定期的に業績評価シートを用いて、目標設定と振り返りをしています。 | 今後も業績評価シートを有効に使って、目標設定と振り返りをしていきます。 | | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 評価表の結果をもとに会議を開き、保護者の意向を把握しました。保護者が何を求めているかを共有しました。 | 今後も保護者の意向を踏まえて、業務改善に努めていきます。 | | | | |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | ○ | | 1on1などで職員の意見を聞く機会を設けています。いつでも相談できる機会があります。 | 改善まで時間がかかる時もありますが、よい仕事につながるよう努力していきます。 | | | | |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | ○ | | 現在、第三者による外部評価を行っているところです。 | 外部評価の結果が出ましたら、それを業務改善に生かしていきます。 | | | | |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。 | ○ | | 法人内の発達支援研究所の定期研修や、ブロック内での感染症対策研修などを受けています。 | 今後も積極的に研修を受けて、職員の資質向上に努めます。 | | | | |
| 適切な支援 | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | ○ | | 支援プログラムをホームページ上で公開しています。 | こどもを中心に据えて、こどもの意思を尊重しながら支援プログラムを作成していきます。 | | | | |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。 | ○ | | アセスメントの際に、保護者に協力してもらうことで細かなニーズやその子の課題を共有しています。 | 今後もこどもの状況を把握するアセスメントを大切にしていきます。 | | | | |
| | 13 | 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | ○ | | 指導員にもモニタリングに関わってもらい、それを個別支援計画の作成に生かしています。 | 支援に関わる指導員の意見を大切にしながら、個別支援計画を作成していきます。 | | | | |
| | 14 | 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | ○ | | 支援計画は常にファイルから見ることで、各指導員は支援計画の内容を共有して、計画に沿った支援をしています。 | 指導員の支援内容や支援状況も共有しながら、計画に沿った支援を行っています。 | | | | |
| | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | ○ | | 法人が定めたアセスメントシートを使用していて、個別にファイリングしています。個別の支援記録をExcelで共有しています。 | 今後も支援記録やミーティングなどで、こどもの状況を把握できるようにしていきます。 | | | | |
| | 16 | 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | ○ | | 5領域を踏まえた「本人支援」、本児と家族のより良い関係づくりをサポートする「家族支援」、関係機関等の連携などの「移行支援」、それぞれに支援目標、支援内容を明記しています。 | アセスメントをもとに、「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」の支援内容を設定していきます。 | | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | ○ | | こどもの課題を踏まえて、どのような支援をしていくかを、職員で共有しています。 | ミーティングを大切にしながら、チームでプログラムを考えていきます。 | | | | |

| | | | | | | |
|--|----|--|---|---|--|---|
| 援 の 提 供 | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | ○ | | 担当制では無いので、各指導員が得意とするスキルを用いて支援しているため、固定化しないようになっています。 | 今後もプログラムが固定化しないように努めていきますが、固定化で安定するこどもにはそのように対応していきます。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。 | | ○ | 現状では1対1の個別療育が中心となっております。 | 利用者様からの希望を聞きながら、小集団療育に取り組んでいます。 |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | ○ | | 支援開始前のミーティングで、利用児童、支援場所、使用する機の確認などを行っています。 | 報告・連絡・相談の基本を忘れないようにしていきます。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | | ○ | ミーティングは昼に行いますが、必要に応じて、指導員間でのミーティングや社内SNSで情報共有をしています。 | 社内SNSに記録を残すと後で全員が確認できるので、有効に使っています。 |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | ○ | | 支援記録は欠かさずにとっています。職員全員が支援記録を読むことで、情報共有や支援の検証につなげています。 | 記録の漏れが無いようにチェック体制をとることで、円滑な業務につなげていきます。 |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | ○ | | 指導員の協力を得て、6か月ごとにモニタリングを行っています。 | 今後も本児の課題の達成度を見ながら、定期的にモニタリングを行っています。 |
| | 24 | 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせる支援を行っているか。 | ○ | | 4つの基本活動の中でも、日常生活の充実や多様な遊び、子どもが主体的に参加することなど組み合わせています。 | こどもの自己肯定感を高めることを大切にして、4つの基本活動を組み合わせていきたいと思っています。 |
| | 25 | こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。 | ○ | | 今日の予定を指導員と相談して決めることを通して、こどもが自分の意思を表出する機会を設けています。 | 「いや」と拒絶の意志を表出することも肯定的に受け止めて、お互いの考えをすり合わせることを大切にします。 |
| 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 | 26 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | ○ | | 児童発達支援管理責任者が参画しています。状況により、指導員も一緒に参画します。 | サービス担当者会議には可能な限り、積極的に参加します。 |
| | 27 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | ○ | | 保護者の要望に応じて、関係機関と連携する体制を整えています。保育園や小学校など関係機関連携をしています。 | 今後も可能な限り、関係機関連携をしています。 |
| | 28 | 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。 | ○ | | 個別療育で保護者同伴の送迎が多いので、保護者を通じて学校の行事予定などを確認しています。 | 移動支援を利用している場合は、保護者と電話やLINEなどでのやり取りを通して、連絡調整をしています。 |
| | 29 | 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。 | | ○ | 児童発達支援から持ち上がりで利用するこどもが多いので、特に情報共有することなくスムーズに移行できています。 | 情報共有と相互理解の機会があれば、積極的に関わっていきます。 |
| | 30 | 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。 | | ○ | 今まで障害福祉サービス事業所等へ移行した事例がありませんが、卒業後の進路については保護者に情報提供しています。 | 障害福祉サービス事業所等への移行があれば情報提供します。また法人内にある系列の就労移行支援事業所のご案内もします。 |
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。 | ○ | | 児童発達支援センター主催の研修に、指導員が参加するようにしています。相談員がモニタリング等で来所する際に、いろいろご意見をうかがうようにしています。 | 今後も児童発達支援センターとのつながりを大切にしています。 |
| | 32 | 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。 | | ○ | 1時間の個別療育のため、教室外へ出て他の地域のこどもと交流する機会がありません。 | 地域の他のこどもの活動は難しいかもしれませんが、方法を探っていききたいと思います。 |
| | 33 | （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。 | | ○ | 今まで参加の機会が無かったため、参加できていません。 | 今後、協議会へ参加の機会があれば参加したいと思っています。 |
| | 34 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | ○ | | 毎回支援後に15分の振り返りを行い、保護者との共通理解の場になっています。 | 大切な家族支援のために、これからも支援後の振り返りを継続していきます。 |
| | 35 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | | ○ | 専門的なペアレントトレーニングとまではいきませんが、必要に応じて振り返りの時間や事業所内相談で、家族支援をしています。 | これからも保護者の要望に応えられるように、家族支援に取り組みます。 |
| | 36 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | ○ | | 契約時に重要事項説明書などを見ていただき、丁寧に説明をするようにしています。質問があれば、都度対応しています。 | 今後も丁寧な説明を心掛けていきます。 |
| | 37 | 放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | ○ | | 契約時やモニタリング後の更新時に、支援記録やアセスメントなどを元に作成した支援計画の内容を確認してもらっています。 | こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を忘れないように、丁寧にご家族へ説明していきます。 |

| | | | | | | |
|----------|----|--|---|---|---|--|
| 保護者への説明等 | 38 | 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。 | ○ | | 支援内容について説明をし、保護者の同意を得ています。 | 内容についてご意見があれば、内容の変更も踏まえて柔軟に対応して、同意を得るようにします。 |
| | 39 | 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | ○ | | まずは傾聴に努め、ご家族のお悩みを受け止めた上で、ご家族と一緒に解決策を考えるようにしています。 | すぐに結論が出ることばかりではないため、丁寧に時間をかけて、お悩みに寄り添うようにしていきます。 |
| | 40 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | | ○ | 1対1の個別療育が主のため、保護者会等は開催していませんが、保護者同士が歓談できる環境にはなっています。 | 保護者のニーズを確認しながら、保護者同士の連携を支援していきます。 |
| | 41 | こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | ○ | | 相談・申入れについては迅速に対応する体制を取っており、どの職員も事業所内で対応します。 | その場ですぐにお答えできない場合は、職員間で協議したうえで、後日改めて回答するようにします。 |
| | 42 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | ○ | | ホームページでのブログやX(旧twitter)、LINEを使って情報発信をしています。 | 今後もネットを有効活用して、こどもや保護者に情報発信をしていきます。 |
| | 43 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | ○ | | 契約時に「個人情報に関する同意書」を交わしており、個人情報の取り扱いには十分留意しています。 | 今後も個人情報の取り扱いには細心の注意を払います。 |
| | 44 | 障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | ○ | | 絵カードなどで視覚化する、マカトン法を用いる、タブレットの使用、LINEでの情報提供など、個別に対応しています。 | 意志疎通が難しくても、その人には必ず意思はあるという前提から、丁寧に対応をしています。 |
| | 45 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | | ○ | 地域住民を招待するような行事はありませんが、平成29年11月から開所しており、地域には知られるようになっています。 | 今後も地域に当事業所の存在を認知してもらえるように努めていきます。 |
| 非常時等の対応 | 46 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | ○ | | 緊急時の対応等について、保護者に契約時に説明しています。また定期的に訓練も行い、その報告を玄関に掲示しています。 | 今後も非常災害などを想定した訓練を行っていきます。 |
| | 47 | 業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | ○ | | 業務継続計画を策定し、感染症発生を想定した訓練や、非常時の連絡訓練などを行っています。 | 今後も非常事態を想定した訓練を実施していきます、万が一に備えていきます。 |
| | 48 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | ○ | | 保護者からの情報をもとに、服薬があるこども、てんかん発作などのあるこどもについて、事業所内で共有しています。 | 事前に発作時の対処法を保護者から聞いているので、発作が起きた場合でも冷静に対処できるようにしていきます。 |
| | 49 | 食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | | ○ | 当事業所は食事の提供がありませんが、アレルギーのある児童の情報は把握しています。 | アレルギーのある児童は、粘土の使用などに配慮していきます。 |
| | 50 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | ○ | | 定期的にヘルメットなどの備品確認をしています。夏季は支援中でも水分補給を促し、熱中症対策をしています。 | 安全管理が行き届いた環境を整えていきます。 |
| | 51 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | ○ | | 安全計画を教室内に掲示しています。災害用伝言ダイヤルも同様に掲示しています。 | ご家族への周知が難しいので、折に触れて周知できるようにしていきます。 |
| | 52 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | ○ | | どの職員も事業所内スプレッドシート上にヒヤリハットを記録できて、閲覧できるようになっています。 | 個人の責任追及でなく、職員全体で再発防止の解決策を考えられるように共有していきます。 |
| | 53 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | ○ | | 年1回以上、虐待防止・身体拘束委員会を開き、事業所内研修をしています。 | 今後も職員研修の機会を確保していき、虐待の防止に努めます。 |
| | 54 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。 | ○ | | 契約時に重要事項説明書を通じて、身体拘束について保護者に説明しています。 | やむを得ない身体拘束は必ずガイドラインに基づく三要件を確認して、記録や保護者の同意を得ます。 |